

第33回日本結合組織学会学術大会の開催に当たって

今回の学会を「先端科学技術の推進から、社会への還元まで」をテーマに開催するに当たり、肝線維化研究の国際会議を学会と同時に開催することを企画しました。幸い理事会のご承認を得て、日本結合組織学会および日本肝臓学会の錚々たる先生方のご理解とご助力をお願いすることができました。遺伝子研究の進歩から線維化研究は急速に進歩し、遺伝子治療が可能になってきつつあります。この国際会議で、マトリックスの基礎的研究面でも内外の第一線の研究者が一同に会する貴重な場になればと期待しております。

「再生医学とマトリックス」は、シンポジウム、浅島 誠教授の特別講演、国際会議での Prockop 教授の講演などで最先端の研究が発表され、討論されると期待しております。

20年前、産業医科大学の第一回国際シンポジウム「職業病のコラーゲン、コラゲナーゼ」の事務局長を勤めましたが、この国際シンポジウムは当時のわが国のマトリックス研究の進歩に貢献したと自負しております。今回、二硫化炭素、カドミウム、砒素の面白さを知っていただければと櫻井治彦教授をはじめとする衛生学関係者をお願いして同じ名前のシンポジウムを組みました。

フォーラム「特許につながる独創的結合組織研究」は、畑 隆一郎教授（前理事）のご努力下、この学会で発表しても、ある一定期間内であれば特許の申請に抵触しない許可を受けました。これを広く会員に知ってもらうことと、会員の研究で経済の活性化への意気を示すべく企画し、水島 裕教授も特別講演して下さいます。

会期の3日間、おおいに勉強し、おおいに討論し、会員諸氏のお役に立てばと念じております。学術大会をもり立ててくださいますよう宜しくお願いいたします。

第33回日本結合組織学会学術大会

会頭 岡 崎 勲